

# JAいけだ CREATION

今月号の表紙写真は、8月8日に  
行われた「池田町フレッシュ農業人  
を励ますつどい」での集合写真です。  
詳細は2ページをご覧ください。



## CONTENTS

- \* 令和元年度 フレッシュ農業人を励ますつどい開催!
- \* 令和元年度 JA十勝池田町役員研修
- \* 池田町内JA合併推進委員会を開催
- \* 21NEWS アラカルト

- \* 畜産部通信
- \* JAグループ通信
- \* 石田邦雄の農業拾い読み
- \* 今月の1枚
- \* 理事会の動き
- \* 編集後記

2019.

9  
SEPTEMBER

No.117

# 令和元年度 フレッシュ農業人を 励ますつどい開催!

8月8日（木）池田町内の新規就農者3名を迎え、「令和元年度フレッシュ農業人を励ますつどい」が寿楽の息子にて、池田町・十勝池田町農協・十勝高島農協・各関係機関の代表者及び2JA青年部・女性部の代表者が出席して開催されました。

今年度は、青山地区の村中謙太さん（村中秀樹氏次男）、村中駿介さん（村中秀樹氏三男）、嶋木由羽さん（嶋木潤氏長男）の3名が新規就農されています。

はじめに各関係機関より新規就農者の方々へ激励の挨拶が行われ、池田町勝井町長より「早く多くの農業の経験を積んで一人前になってもらいたい」とエールが送られ、十勝池田町農協鈴木組合長より「農業とは自然に感謝しながら、また自然の厳しさを感じながらそれを克服していく努力をしてもらいたい。事故・ケガが無い様に気をつけてもらいたい」と新規就農者に激励の言葉を頂き、十勝高島農協八木組合長より「農業の技術を磨き、地域の方々から学びこれから活動を期待したい」とアドバイスを頂きました。

新規就農者の方々よりこれからの抱負などの挨拶があり、村中謙太さんは「地域の農業に貢献できる様に日々邁進していきます」。村中駿介さんは「農業を営んでいく上で先輩方の良いところを吸収して池田町農業を構築していきます。」嶋木由羽さんは「早く仕事を覚えて池田の農業を盛り上げる様な人になりたいです。」とお話をされていました。



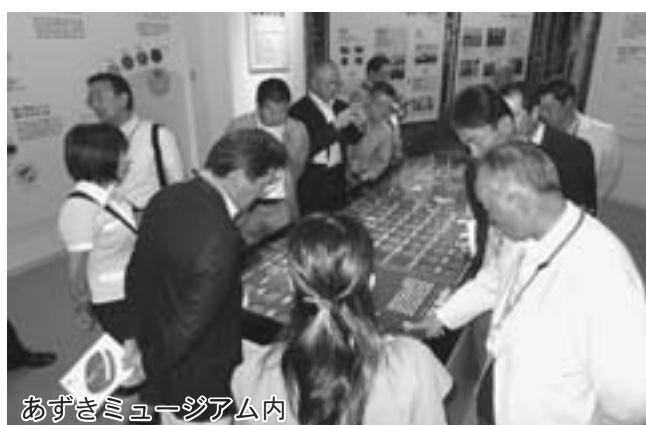
新規就農者挨拶  
左から 村中謙太さん、村中駿介さん、嶋木由羽さん



目録の贈呈

続いて、指導農業士の方々より激励の挨拶並びに記念品目録（山幸2013のマグナムボトル1.5L）が贈呈されました。池田町農業委員会の金川会長の乾杯で、お食事を楽しみながら親睦を深められ、十勝東部地区農業改良普及センター松浦支所長の閉会の挨拶で終了致しました。

（記事・営農部次長 佐藤正浩）



今回の役員研修は、長年取引頂いている取引先へのお礼やご挨拶、更に役員によるトップセールスにより、今後の取り引き継続・拡大を目的として実施。

# 令和元年度 JA十勝池田町役員研修

理事 塚 谷 亨

(株) 御 座 候

6月22日（土）

当日は土曜日ながら、山田専務・小河工場長・石川開発室長がお出迎え下さり、工場での製餡作業は残念ながら視察できなかつたものの、日本の小豆文化を今の人々・将来の人たちが生活の中に引き継ぐため、平成21年に開設された「あづきミュージアム」を視察。  
(株)御座候の十勝産小豆への熱い想いを肌で感じました。

ミュージアム視察後は、十勝ショッピングでおやきを堪能し、更に本年6月に新発売された「御座候アイスバー」(赤あん・白あん)も堪能してきました。

最後に、本年の小豆や手亡など生育状況や天候状況を報告、出来秋の豊穣を約し(株)御座候を後になりました。



(株)虎屋御殿場工場

6月24日（月）

室町時代、約500年前に創業老舗中の老舗である(株)虎屋の御殿場工場を視察。  
(株)虎屋とは、平成20年から希少

現在、主力の羊羹・最中など虎屋商品の約70%を製造する基幹工場である「福白金時」の契約栽培を開始。

この御殿場工場は東京を中心とした多店舗展開の必要性から、東名高速などのセータリゼーションの発展、更に富士山からの良質な伏流水が豊富なことから昭和53年御殿場工場を新設。以降、環境配慮・オートメーション化・多目的ライン・ISO取得など対応のため、平成5年に新設。



場あります。

今回、星野資材部長の他、三改木御殿場工場長など工場及び研究所のスタッフ総勢5名で視察対応頂きました。羊羹製造の一部は終了しておりましたが、製麿ライン・羊羹ライン・最中ライン・原材料展示室・環境コーナー・ビデオなどにより、丁寧にご案内頂きました。

工場見学終了後は、夜の梅・新緑・おもかげの三種の羊羹の贅沢な食べ比べの後、意見交換が行われました。

と。

星野部長からは、「福白金時は虎屋羊羹の生命線であり、海外でも栽培されない希少品種であり、池田町は世界一の産地」と今後の契約栽培への期待を込めてお話し頂きました。

最後に組合長から研修のお礼と、老舗虎屋とのお取引は豆生産者としての誇りであり、今後も継続した契約栽培をお願いし、本年も精一杯努力して良質な福白金時を供給致したいとお伝えし視察を終えました。



れました。

御殿場工場で使用する富士山の伏流水は軟水で、豆もよく煮えるが、如何に工場オートメーション化されているとは言え最後は職人の技が必要で、技術や知識の伝承のため人材育成に取り組んでいる。

また海外からのインバウンドにより、店舗販売員にも英語・中国語・イタリア語・スペイン語圏の外国人も採用しているとのこと。昨今の少子高齢化による人材不足や人材育成にも取り組んでいるとのことです。

(株)菜匠とは、平成12年設立から取引を開始。

近年は災害や気象変動により、青果物の安定した供給や価格に苦慮しており、当JAのよつな産直や市場等、多くのチャンネルを利用し安定供給を図っています。

特に産地の開発・育成を図るために、産地との直接取引を重視している。販売についても量販店・卸

## (株) 菜匠

6月24日(月)





(株)深川フーズファクトリー

業者・加工業者など、様々なチャネル・多彩なパッケージ・デリバリー業務など、農産物販売に付加価値を付けている。当JAとは、玉葱・馬鈴薯・南瓜・ネバリスター・小豆など豆類まで多岐にわたり取引。

(株)菜匠の深川フーズファクトリー・本社工場・第二工場を視察しました。

### ● 深川フーズファクトリー

昨年Aコープでも販売・取り組みをしたオリジナルのポテトチップスも製造して頂きました。ポテ

トチップスは様々な形状（タイプ）にも対応し、フライ・ザクギリ・厚切りフライなど様々なオーダーにも対応。また味付けも多彩で様々な味付けのポテトチップスが製造されており、パクチー味や焼き肉味・塩レモン味なども製造されています。

### ● 本社工場・第二工場

#### (栃木県南地方卸売市場)

本社工場は馬鈴薯、第二工場では玉葱を主体にパッケージ。

イタリア製の自動計量包装機や手詰めラインがあり、出荷先のオーダーにより重量600g～2.5kg、パッケージについてもビニール・ネット・カップなど多様な対応が可能となり、両工場合わせて一日9万5千パック可能です。馬鈴薯だけでも、年間1万トンを取り扱っています。



株菜匠第二工場

### 研修を終えて

今後も、お取引の継続・拡大並びに池田のブランドづくりや加工など付加価値を付けたお取引をお願いします。

役員研修で気づいた取引先の思いと組合員の思いを農協運営に活かして行きました。

## 池田町内JA合併推進委員会を開催 池田町・2JA女性部・青年部役員が出席

池田町内JA合併推進委員会（両JA役員による会議体）が、8月8日（木）農協本所大会議室において開催されました。出席者は、両JAの全役員（合併推進委員）と池田町（勝井町長・吉田産業振興課長）、両JAの女性部及び青年部役員13名が、前回（7月19日）の合併推進委員会拡大役員会に引き続き出席を頂きました。

今回の合併推進委員会では、これまでの合併協議・検討経過、今後の取り進め、新JA農業振興計画・中期経営計画（案）たたき台について協議・検討を行い決定頂きました。これら、合併推進委員会での決定事項については、8月27日（火）から、地区懇談会にて組合員の皆様にご説明・ご報告して参ります。

## 農協友の会

## 管外親睦パークゴルフ大会を開催

農協友の会（会長宮前松春さん）は、7月25日26日の日程にて、管外親睦パークゴルフ大会を開催いたしました。25日は温根湯のあいりすパークゴルフ場、26日は置戸町の置戸パークゴルフ場の豊かな自然や木々を活かした魅力ある8コース、72ホールで競技を楽しみました。初日は曇りで涼しい中での競技になりました。夜には雨が降り始め翌日の天候が心配されました。朝には雨も上がり暑い中、熱いプレーを行いました。

初日競技終了後は、温根湯温泉大江本家で汗を流し、親睦を深めるために懇親会を開きパークゴルフなどの歓談で盛り上りました。置戸での競技終了後は、陸別で表彰式を行い帰路につきました。参加された皆様、大変お疲れ様でした。成績は以下の通りです。

優勝…石丸経吉さん 準優勝…横田保則さん・鴨川栄一さん（同スコアー）

（記事・管理部長 花本 敦）

大会に参加した農協友の会の会員の皆様



## 管 理 部

## 金川佳則氏からの寄付によりエアコンを設置

豊田1地区・金川佳則氏より農協にご寄付を頂きました。

「長年営農を無事に続けることが出来た感謝を農協に伝えた

金川氏に組合長から感謝状を贈呈

い。これから  
の将来を担う組合員、役職員の教育に役立てて頂ければ。」  
との金川氏のご意向から、農協本所2階小会議室に冷暖房設備を設置致しました。これまで温度調整が難しかった小会議室ですが、今後は適切な温度管理により研修や会議等もよりよい環境で行なうことが可能となります。この度は本当にありがとうございました。

（記事・管理課長 岡本富之）



設置された小会議室のエアコン

## 給 油 課

## 軽油・灯油タンク拝見訪問実施

7月16日から給油課の渉外活動として軽油・灯油タンクの拝見訪問を行ってあります。タンクの老朽化による漏れや傾き等が無いかスタッフが拝見させていただき、場合によっては部品の交換等を後日ご相談させていただいております。圃場作業や小麦の収穫作業の始まりもあり、面会出来ていないお宅、又業務の都合上拝見出来ないお宅も有りました。今後も渉外活動を実施して行きますのでその際はよろしくお願いします。

（記事・営農部給油課 鈴木則宏）





## 年金友の会

## 親睦研修旅行

年金友の会（会長：神谷充雄さん）では、7月15日から17日にかけて、会員30名の参加のもと、富良野・小樽方面への親睦研修旅行を開催いたしました。

15日午前8時に池田を出発し、富良野で昼食をとった後、まずは中富良野町の観光名所である「ファーム富田」を見学しました。この日は連休最終日という事もあり大変混雑しておりましたが、一面紫色のラベンダー畑の他、マリーゴールドやサルビア等色とりどりの花々を鑑賞しました。その後天人峡の「羽衣の滝」へと向かい、日本の滝百選に選ばれている北海道最大落差270mの美しい滝を眺めた後、この日の宿泊先である美唄まで移動し、夜は温泉につかり日頃の疲れを癒しました。

2日目はホテルを出発後小樽へと向かい、「田中酒造 亀甲蔵」で酒造りの様子を見学したあと、蔵元限定の日本酒・甘酒を試飲いたしました。午後からは各自小樽運河を散策したり買い物を楽しんだ後、定山渓にある「豊平峡ダム」に向かいました。ダム周辺は切り立った岩盤斜面に囲まれた景勝地となっており、豪快な放流と合わせた壮大な景観を堪能しました。この日は定山渓温泉で宿泊をいたしましたが、夕食時にはbingoゲームやカラオケ大会を行い大いに盛り上がりました。

最終日は定山渓でサクランボ狩りを行い、恵庭市にあるえこりん村で美味しいランチを味わった後、無事に池田への帰路につきました。

旅行期間中は好天に恵まれ、また事故の発生もなく、会員相互の親睦を深められた楽しく思い出深い旅行となりました。参加された会員の皆様大変お疲れ様でした。

（記事・金融部池田支所課長 穴澤美都恵）

## 青年部

## 青年部夏期研修会

7月20日、青年部夏期研修会が行われました。今年度は帯広にある東洋農機の工場を視察させていただき、会社の歴史、工場の生産ラインの見学、スプレイヤーの実演を見せていただきました。

見学時、工場ではTOP1（ポテトハーベスター）を製造しており、部品の型取りから溶接、塗装、組み立てなどの生産ラインを見学させていただきました。その後はスプレイヤーの実演をしていただき、部員から沢山の質問が出てとても有意義な研修となりました。

研修会の後には懇親会も行われ、部員との交流や情報の交換などが出来て、とても勉強になった一日となりました。

（記事・青年部会計 武智宣仁）





畜産部

## あか牛部会 「いけだ牛即売会」

8月8～9日、「いけだ牛即売会」を開催。当団は長島典雄さん（千代田）生産の去勢牛、1頭分をご用意しましたが、多数のお客様にお越し頂き2日間で全て完売いたしました。

今回は6月にオープンしたセイコーマート池田店、店内に設置されている「いけだ美味しいもの広場」のスペースで販売させていただくという、初めての試みとなりましたが、約3ヶ月ぶりの販売だったこともあり、当日ご用意した焼肉用・ステーキ用のいけだ牛は開店当初から列ができるほどの盛況ぶりでした。今後も定期的な販売を予定しております。

次回は11月、農業祭での販売に向け、準備を進めて参ります。  
(記事・畜産課長 米川 武)

食品加工サークル

## 食品加工サークル 視察研修 ～千歳方面へ～

7月23日に食品加工サークルの視察研修を開催しました。今回は初めて十勝を飛び出て管外へ。光寿苑のマイクロバスを借りて高速道路に乗って千歳方面へと向かいました。

まずはキッコーマン千歳工場で工場見学を行いました。醤油が出来上がるまでには原料となる大豆・小麦を蒸したり炒ったりして混ぜ合わせ、数日置いておくと醤油麹になり、食塩水を加えて仕込んで半年以上発酵・熟成を行うともろみが出来上がります。熟成を重ねたもろみは、ナイロン製の布に入れて圧搾します。このナイロンに残った醤油粕が牛や豚の飼料として無駄なく使われています。搾り出された醤油に加熱殺菌を行ってボトルに詰めたら完成となります。

この工場では最新鋭の設備でキッコーマンの濃口しょうゆ・甘口しょうゆ・めんみを製造しています。小麦をはじめ、原材料はできるだけ道内産を使用しているそうです。製造工程にはコンピュータを使って工程管理・品質管理を行っており、道内におけるキッコーマンの流通センターも兼ねているので、広大な倉庫から全道にキッコーマンの全製品が運ばれているとのことでした。

お土産コーナーにはあまりスーパーでは見られない製品も置いてあり、会員のみなさんは珍しそうに手に取り購入していました。キッコーマン千歳工場からプレゼントで濃口しょうゆを頂いて皆さん喜びながらバスに乗り、続いて昼食のみるくのアトリエ寺田牧場というファームレストランで自家製のチーズを使ったピザやパスタなどの食事をした後は、えこりん村に向かいました。

あいにく霧雨が降っており、花が下を向いていたのが残念でしたが、とまと森では頭上に鈴なりに生っているトマトを見て「上を向いて」帰ってきました。えこりん村や次に寄った道の駅サーモンパーク千歳でお買い物を楽しむことができて良い研修となりました。

(記事・営農部振興課 豊原英梨)

キッコーマン千歳工場見学の様子



小豆現地研修会の様子



農産課

## 青年部小豆研修会

8月13日、青年部食育圃場にて小豆の現地研修会を開催致しました。青年部と農協指導チームが連携して、「エリモ小豆」「紫さやか」の比較試験に取り組んでいます。

「紫さやか」は、(株)御座候・(株)バイオテックが共同開発を行った品種で、餡適性が高く将来的に期待されている品種です。

研修会では、農産課の高田職員が講師を務め、生育調査結果の説明を行いました。調査結果では「紫さやか」の品種特徴の一つである、胚軸長が「エリモ小豆」に比べ約2倍となっており、品種特徴が表れる結果となりました。青年部からは今後の圃場管理など多くの質問があり、有意義な研修会となりました。

今後は、収穫後に収量・品質の調査を行います。「紫さやか」の特徴ともされている収量の優位性が表れることを期待しまして、報告とさせていただきます。  
(記事・農産販売課長 秋野健太)

こだま会

## こだま会一日研修を開催

7月29日に会員20名の参加にて、こだま会一日研修を開催しました。

上浦幌にある浦幌フリーズドライ株式会社へ行き、工場見学をさせてもらいました。

衛生管理が徹底しており、指輪やネックレスなどの装飾品を外し、手指に傷がないかチェック、衛生服に着替えてマスクもすると目だけしか出ない格好になります。工場の中に入る前に、コロコロで衛生服に付いているホコリなどを取って中へ入ります。この工場では、即席カップ麺の具材やお茶漬けやかりかけの具材などを製造しています。当日はジャガイモをサイコロ状にしたダイスボテトや枝豆をペースト状にするなどフリーズドライ（真空凍結乾燥）の準備をしていました。フリーズドライとは、原料を凍結させて真空中でじっくり乾燥させる方法です。一般的には、氷（個体）→水（液体）水蒸気（気体）の3段階で乾燥に至りますが、この方法は、氷（個体）→水蒸気（気体）へと、水分が昇華する原理を用いています。最後にフリーズドライされた製品も見せてもらいましたが、コンソや鮭フレーク、野沢菜フレークや枝豆、中にはお菓子用に使うイチゴといったフルーツもフリーズドライされていました。販売先のお菓子屋さんでこのイチゴにホワイトチョコでコーティングしたり、ドライイチゴをパウダーにしたものをお菓子に振りかけたりするそうで、話を聞いていくととてもぞそられました。

その後、本別で昼食や買い物をした後に北海道糖業株式会社で研修をしました。時期的に工場が稼働していないので、DVDを見せて頂いた後に質疑応答。活発に質問も出て、色々なお話を聞けたのでとても良い研修となりました。

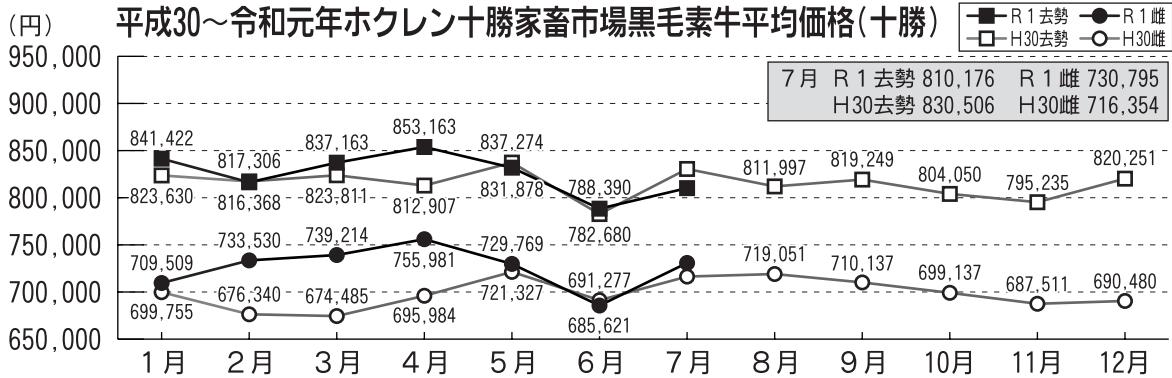
当日は暑い中、熱中症にならないよう水分をこまめに取りながら過ごしたので、体調を崩される方もいなく、無事帰路に着きました。  
(記事・営農部振興課 豊原英梨)

工場内見学の様子





# 畜産部通信 畜産部 畜産課



## 7月黒毛素牛出荷区分別成績

【金額(円)】

		取引頭数	平均価格(税込)	前月価格比	参加率・認定率
去勢	和牛素牛	761	810,176	21,786	
	マニュアル参加牛	405	805,197	13,385	53.2
	マニュアル認定牛	38	863,573	19,886	9.4
池田	和牛素牛	46	827,046	21,949	
	マニュアル参加牛	39	816,812	9,898	84.8
	マニュアル認定牛	7	864,463	70,798	17.9
雌	和牛素牛	526	730,795	45,174	
	マニュアル参加牛	279	717,526	27,809	53.0
	マニュアル認定牛	15	774,360	3,915	5.4
池田	和牛素牛	32	687,048	-10,600	
	マニュアル参加牛	29	686,880	-11,775	90.6
	マニュアル認定牛	3	737,640	—	10.3

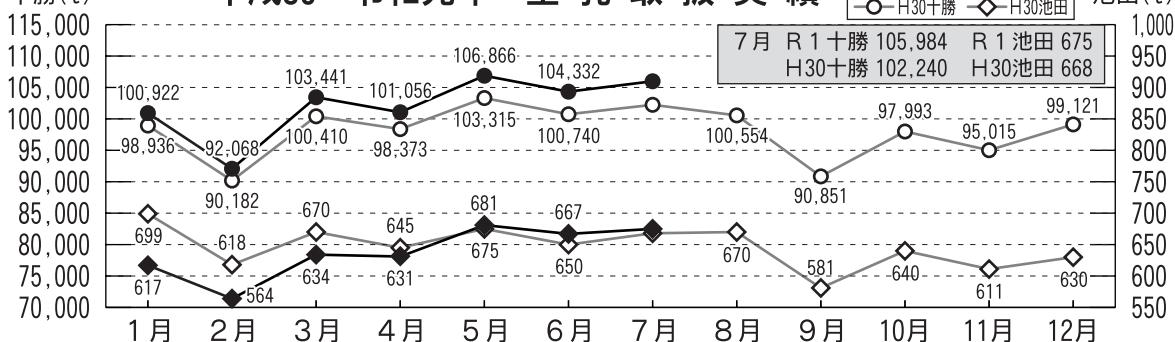
## 7月ホクレン十勝枝肉市場 【金額(円)】

開催日	区分	規 格	平均単価(税抜)
6日	黒毛去勢	A-5	2,250
		A-4	2,065
		A-3	1,786
20日	黒毛雌	A-5	2,305
		A-4	2,093
		A-3	1,886
F1	去勢	B-3	1,420
		B-2	—
		F1	1,230
		雌	—



## 平成30～令和元年 生乳取扱実績

【R1十勝 R1池田 H30十勝 H30池田】



## 7月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
3日	乳牛育成	431	398,680
23日	乳牛初妊	594	807,155
	乳牛経産	75	515,723

## 7月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区 分	平均価格(税込)	前月比
乳牛オス初生	137,374	+ 762
F1オス初生	331,328	+ 4,032
F1メス初生	237,957	+ 11,217
廃用牛	213,072	+ 277

草地更新  
3か年運動

# 草地更新のすすめ

パート16

## 新播草地・経年草地のギシギシ対策

ギシギシは、生育が進むと牧草よりも消化率・栄養価が低下します。また、株が大きくなるので裸地が生じ、飼料価値・栄養価の高い牧草の収量が減ってしまいます。新播草地では小さな実生個体のうちに（写真1）、経年草地でも巨大な株が優占する前に、計画的な防除を行い草地の厄介者を退治しましょう。

### 新播草地の除草剤によるギシギシ防除（秋処理）

#### ・アージラン液剤

薬量：200～300ml／水100L／10a　対象：春播種草地

10月上～中旬に散布して下さい。散布当年には黄化するのですが、翌春に枯死します。

＜注意＞ 最終番草収穫後に散布し、夏・秋播種草地への当年秋の散布は避ける。散布後14日間は放牧を行わない。

#### ・ハーモニー75DF水和剤

薬量：0.5～1g／水100L／10a　対象：夏播種イネ科単播草地

発芽したばかりのギシギシ（草丈20cm以下）を防除できます。夏播種草地への散布が可能ですが、9月以降に播種した草地では、牧草が小さい状態なので避けたほうが無難です。

＜注意＞ クローバへの薬害が著しい。散布後21日間は採草・放牧を行わない。



写真1 夏播種新播草地、防除未実施で翌年8月にギシギシ優占

### 経年草地の除草剤によるギシギシ防除（秋処理）

#### ・アージラン液剤

薬量：300～400ml／水100L／10a

10月上～中旬に散布して下さい。散布当年には黄化するのですが、翌春に枯死します。

＜注意＞ 最終番草収穫後に散布し、散布後14日間は放牧を行わない。

#### ・ハーモニー75DF水和剤

薬量：3g／水100L／10a　対象：イネ科単播草地

収穫後、ギシギシの葉が手のひらサイズに展葉した頃が散布適期です。

＜注意＞ クローバへの薬害が著しい。散布後21日間は採草・放牧を行わない。

#### ・バンベルD液剤

薬量：75～100ml／水100L／10a　対象：イネ科単播草地

タンポポ防除にも効果があり、完全には枯死しませんが翌春に生育が抑制されます（写真2）。最終番草刈取り後30日以内に散布して下さい。

＜注意＞ マメ科への薬害が著しい。散布当年の牧草は使用しない。

なお、経年草地では親株が生産したギシギシ種子からの実生発生も考慮し、計画的な防除を実施しましょう。



写真2 前年秋のバンベルD散布で生育が抑制されたタンポポ

<記事提供> 雪印種苗株式会社 トータルサポート室 高橋美紗子

# J A グループ通信

J A グループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

## J A 北海道中央会

7月31日にJ A北海道中央会と各連合会の役員にて、吉川農林水産大臣を含む農林水産省幹部職員及び道内選出与党国会議員等に対して、令和2年度国費予算概算要求に向けた要請運動を実施いたしました。「持続可能な北海道農業の確立に向けた政策提案」に基づき、農業予算の万全な確保に加え、国際貿易協定・交渉対策や労働力確保対策に向けた支援強化、各作物の需給安定対策の構築等を要請しました。また「食料・農業・農村基本計画」と「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」、「経営所得安定対策の交付単価」の見直しに向けては、家族経営基盤の維持・強化の視点や生産現場の実態を踏まえた議論を進めるよう要望しました。



引き続き、J Aグループ北海道の政策提案の実現と日米貿易協定交渉については、「農業経営や生産基盤に影響がでないよう適切な国境措置の確保」、「北海道農業を犠牲としない毅然とした対応」を政府・与党に求め、今後も北海道の農家・組合員が安心して営農できるよう取り組んで参ります。

## J A 北海道信連

地元プロ野球チーム・ファイターズのスポンサーイベントとして、7月19日、J Aバンク北海道スペシャルナイターを札幌ドームで開催しました。本イベントは、昨年に引き続き2回目になります。今回は、新たにJ A特産品の物販コーナーを設けた他、参加J Aの女性職員から対戦チーム両監督への花束贈呈を行いました。また、中央会などとも連携して、サポーターづくりに向けたPRを実施しました。



## ホ ク レ ン

ホクレンと北海道日本ハムファイターズが連携して、同球団の発信力を生かして北海道農業の魅力を伝える「北海道農業応援プロジェクト」の取り組みが6月28日より開始しました。その一環として、7月13日に同球団マスコットの「ポリー」と「B☆B」が、ホクレン食と農のふれあいファーム「くるるの杜」にて、窯焼きピザを調理する体験イベントを開催し、消費者との交流を深めながら北海道産農産物のPRをしました。



## J A共済連北海道

7月18日に札幌・共済ホールにて「全道L A・スマサポ大会」が開催され、平成30年度普及活動で優秀な成績を収められたL A33名と、スマイルサポーター11名が登壇し表彰されました。



J A共済では、これからも「3Q訪問活動」と「あんしんチェック（保障点検活動）」の実践を通じて、組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めてまいります。

## J A北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るために、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。このたび紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。



ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



## 理事会の動き

### 第6回 <令和元年8月23日>

#### ★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 小麦の受入状況について
- (4) 農産物の生育状況について
- (5) 共計品の精算について
- (6) 労働力確保に関する組合員聞き取り調査結果について
- (7) 購買業務モニター実施要領の廃止について
- (8) 従業員健康情報等取扱要領の制定について

#### ★ 議 案 ★

- (1) 無料職業紹介事業の取扱について
- (2) 個人情報取扱規程の一部改正について
- (3) 生活物資購買促進奨励金交付規程の廃止について
- (4) Aコープ商品券取扱規程の廃止について
- (5) 購買メンバーズカード取扱規程の一部改正について
- (6) コンプライアンス・情報セキュリティ組織体制の一部改正について
- (7) 反社会的勢力等への対応に関する規程の一部改正について
- (8) 秋季地区懇談会の開催について
- (9) 貸出強化チームの設置並びに貸出強化チーム設置要領の制定について

#### ★ 協議案 ★

- (1) 民法改正への対応について
- (2) 女性農業者及び青年農業者の正組合員加入運動について
- (3) 令和元年度農業祭（案）について
- (4) 特定組合員の経営協議状況について

## 今月の1枚



### 池田カトリック幼稚園の園児が収穫体験！

今月の1枚は、8月23日、様舞地区の増野さんの圃場で、池田カトリック幼稚園の園児が馬鈴薯（メークイン）の収穫体験をした際の様子です。「子供たちが農作業に触れる機会を作つてあげたい。」という池田カトリック幼稚園の神父さんの思いに、「子供たちが喜んでくれるなら。」と増野さんが呼応し始まつたこの取り組みは、今年で31年目を迎えました。

「AIG全英女子オープン」が8月14日に開催され、渋野日向子選手が日本人42年振りとなるメジャー優勝の快挙を達成しました。日本勢では男女を通じ77年に全米女子プロを制した樋口スズ子さん以来2人目のメジャー優勝でした。4日間ともスコア70を切る好スコアで最終的に18アンダーで優勝。8歳からゴルフ、ソフトボールともに始めて、今まで日本代表戦などを観戦するソフトボール好きのようです。私も同2競技を経験しているので、親近感が湧きます。笑顔のシンデレラと呼ばれる渋野選手の影響で、女性ゴルフ人口が増えればいいなと思う今日この頃です。（豊原）

編  
集  
後  
記